



アドビ システムズ 株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

## アドビ、2019 年第 1 四半期の業績を発表 Adobe Document Cloud の過去最高収益など好調な業績を記録 2019 会計年度の目標を上方修正

※米国本社発表の業績プレスリリースは [こちら](#) をご覧ください。

【2019 年 3 月 15 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2019 年 3 月 14 日）：Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2019 年度第 1 四半期（2018 年 12 月 1 日から 2019 年 3 月 1 日）の決算を発表しました。

アドビは 2019 年度より会計基準として「ASC 606」（Accounting Standards Codification 606）を採用しました。アドビが 2018 年 12 月に発表した財務目標は以前の会計基準「ASC 605」に基づいていました。本リリースが報告する業績は「ASC 606」に基づいているため、「ASC 605」に基づく目標と比較できるよう、適宜「ASC 605」に基づく業績を掲載しています。

### 「ASC 606」に基づく第 1 四半期の業績ハイライト

- 2019 年度第 1 四半期の収益は 26 億ドルとなりました。GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、1.36 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、1.71 ドル。
- デジタル メディア分野の収益は 17 億 8,000 万ドル、うちクリエイティブ分野の収益は 14 億 9,000 万ドルに拡大。Document Cloud の収益は過去最高となる 2 億 8,200 万ドル。デジタル メディア分野の年間経常収益（Annualized Recurring Revenue - ARR）は当四半期末時点で 70 億 7,000 万ドルに拡大し、前四半期比 3 億 5,700 万ドルの増加。クリエイティブ分野および Document Cloud の ARR は、それぞれ 62 億 1,000 万ドル、8 億 5,600 万ドルに拡大。
- デジタル エクスペリエンス分野の収益は過去最高となる 7 億 4,300 万ドル。
- 第 1 四半期の GAAP ベース営業利益は 6 億 9,500 万ドル、non-GAAP ベース営業利益は 9 億 8,500 万ドル。GAAP ベース純利益は 6 億 7,400 万ドル、non-GAAP ベース純利益は 8 億 4,400 万ドル。
- 営業キャッシュフローは 10 億 1,000 万ドル、繰延収益は 32 億 2,000 万ドルに拡大。

- 当四半期中に約 210 万株を買い戻しました。

GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、[プレスリリース \(英語版\)](#) の末尾とアドビの Web サイトで説明します。

#### 役員のコメント

アドビの会長、社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayen）は次のように述べています。

「アドビはクリエイティブエコノミーを活気づけ、紙からデジタルへの転換を推進し、カスタマーエクスペリエンス管理を牽引することで企業のビジネス変革を支援しています。当社の第1四半期の業績は、アドビの Creative Cloud、Document Cloud、Experience Cloud がすべて好調を維持していることを示しています。」

アドビのエグゼクティブ バイス プレジデント兼 CFO であるジョン マーフィー（John Murphy）は、次のように述べています。

「2019 会計年度は、過去最高の収益、好調な利益と 10 億ドルを超えるキャッシュフローで力強いスタートを切ることができました。」

#### 「ASC 606」と「ASC 605」の比較

以下の表は、アドビの今期の業績を要約し、以前「ASC 605」に基づいて発表した目標と比較したものです。

	「ASC 606」に基づく 2019 年第 1 四半期の業績	「ASC 605」に基づく 2019 年第 1 四半期の業績	「ASC 605」に基づく 2019 年第 1 四半期の目標
収益合計	26 億ドル	25 億 8,000 万ドル	最高 25 億 4,000 万ドル
デジタルメディア 分野の収益	前年比 22%増	前年比 22%増	前年比最大 20%増
デジタル エクスペリエ ンス分野の収益	前年比 34%増	前年比 32%増	前年比最大 31%増
GAAP EPS	\$1.36	\$1.31	最大\$1.14
Non-GAAP EPS	\$1.71	\$1.65	最大\$1.60

アドビは 2018 年 12 月 13 日に「ASC605」に基づいて 2019 年度第 1 四半期の目標を提示しました。

#### 2019 会計年度の財務目標を「ASC 606」に基づいて更新

アドビは 2018 年 12 月 13 日、「ASC 605」に基づいて 2019 会計年度の財務目標を発表しました。本日、これらの目標を、「ASC 606」および第 1 四半期の業績に基づいて更新します。

2019 会計年度収益合計	最大 111 億 5,000 万ドル
デジタルメディア分野の収益	前年比最大 20%増

デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年比最大 34%増
新規デジタルメディア分野の純 ARR (年間経常収益)	最大 15 億ドル
デジタルエクスペリエンスの年間サブスクリプション収益 <sup>1</sup>	前年比最大 25%増
GAAP 税率	最大 10%
Non-GAAP 税率	最大 11%
GAAP 1 株当たり利益 <sup>2</sup>	最大\$5.59
Non-GAAP 1 株当たり利益 <sup>2</sup>	最大\$7.80
<sup>1</sup> SaaS、マネージドサービス、Adobe Analytics Cloud、Adobe Marketing Cloud および Magento Commerce Cloud の契約期間ベースの提供による年間サブスクリプション収益を含みます。 <sup>2</sup> GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、 <a href="#">プレスリリース (英語版)</a> の末尾とアドビの Web サイトで説明します。	

2019 年度第 3 四半期と第 4 四半期の前年比収益成長率は、2019 年度第 2 四半期の収益目標によって示される成長率と同程度と予想しています。例年夏期には需要が下がるため、2019 年度第 3 四半期には新規デジタルメディア分野の純 ARR が前四半期比で若干下がり、年度末には通例需要が高まるため第 4 四半期には拡大すると予測します。マジメントとマルケットの買収のための買収会計による繰延収益の減少の影響は、2019 会計年度を通じて少なくなって行き、事業も成長するため、四半期営業利益は年度後半を通じて拡大すると予想しています。

#### アドビ、2019 年度第 2 四半期の財務目標

次の表はアドビの 2019 年度第 2 四半期の財務目標を要約したものです。

2019 会計年度第 2 四半期収益合計	最大 27 億ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年同期比最大 20% 増	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年同時比最大 32% 増	
新規デジタルメディア分野の純 ARR (年間経常収益)	最大 3 億 7,000 万ドル	
その他の営業外収益	最大 3,600 万ドル	
税率	GAAP: 最大 12%	Non-GAAP: 最大 11%
株式数	最大 4 億 9,500 万株	
1 株当たり利益	GAAP: 最大\$1.20	Non-GAAP: 最大\$1.77

GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、[プレスリリース \(英語版\)](#) の末尾およびアドビの Web サイトで説明します。

#### 将来的観測の開示 (Forward-Looking Statements Disclosure) について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性があるリスクおよび不確実性を内包した、事業の勢い、顧客の成功、収益、営業利益、季節変動、年間経常収益 (ARR)、その他の営業外費用、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの課税率、GAAP ベースおよび non-GAAP ベ

ースの1株当たり利益、株式数に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 競争において成果をあげることの失敗
- 顧客の必要に応える製品およびサービスの開発、獲得、市場投入、提供の失敗
- 新技術の導入
- アドビまたは第三者によって提供されるホステッド サービスに障害または遅延が生じる可能性
- 情報セキュリティおよびプライバシーに関連するリスク
- サイバー攻撃
- 複雑な販売サイクル
- 当社のサブスクリプションサービスによる収益の認識タイミングに関連するリスク
- サブスクリプション サービスの更新比率の変動
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗
- 会計原則および税規則の変更
- 当社が事業を行っている国々における金融市場および経済情勢の不確実性
- 多国籍企業にとって不可避の他のさまざまなリスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2018年11月30日を末日とする2018会計年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）、および2019年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は、現時点で得られる情報に基づいた推定を反映したものです。これらの数値は、アドビが2019年3月1日を末日とする四半期について2019年3月に提出予定の四半期報告書（Form 10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。

アドビはこれら将来的観測について情報更新の義務を負わず、当面は更新の意図もありません。

## アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

©2019 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe, Adobe Experience Cloud, Adobe Analytics Cloud, Adobe Marketing Cloud, Adobe Advertising Cloud, Magento, and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Inc. (or one of its subsidiaries) in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.